

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～

三重県実行委員会 第3回総会

議案書

令和7年3月26日（水）
プラザ洞津 飛翔の間

< 目 次 >

○議事

第1号議案

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～ 実施計画（案） . . . 1

第2号議案

令和6年度事業報告及び収支決算見込（案） . . . 2

第3号議案

令和7年度事業計画及び収支予算（案） . . . 9

○第１号議案

第４４回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～ 実施計画（案）

※資料１ 第４４回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～ 実施計画（案）の概要

○第2号議案

令和6年度事業報告及び収支決算見込（案）

令和6年度事業報告及び収支決算見込（案）

1 令和6年度 事業報告

I. 実行委員会運営事業

1. 総会

○第2回総会

日時：令和6年7月4日（木） 13：30～14：30

場所：プラザ洞津 飛翔の間

内容：①令和5年度実行委員会事業報告及び収支決算

②第44回全国豊かな海づくり大会 ～美し国みえ大会～ 基本計画（案）

③大会テーマ、大会コスチュームデザイン

④実行委員会会則の改正

○第3回総会

日時：令和7年3月26日（水） 14：30～15：20

場所：プラザ洞津 飛翔の間

内容：①第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～ 実施計画（案）

②令和6年度事業報告及び収支決算見込（案）

③令和7年度事業計画及び収支予算（案）

2. 幹事会

○第2回幹事会

日：令和6年7月1日（月）

場所：書面開催

内容：第2回総会へ提出する議案の審議

○第3回幹事会

日：結果通知日

場所：書面開催

内容：第3回総会へ提出する議案の審議

II. 企画運営・広報事業

1. 各種計画の作成

(1) 大会計画等の作成

基本理念や基本方針、大会までの実施スケジュール等を記載した「基本計画」を作成しました。

また、主要行事などのプログラムや演出の方向性などに加え、関連行事や大会前の気運醸成に関する計画を記載した「実施計画」を作成しました。（第1号議案参照）

2. イベント等における気運醸成

①地域イベント等への出展

(1) 市町、漁協、イオンにおけるイベントへの参加

県内外で開催された上記イベントに参加し、来年度の本大会のPRを行い、気運醸成を図りました。

実施回数：33回（R7.3月末時点）



市町イベント（志摩市）



イオンイベント（イオン京都桂川店）

(2) 1年前プレイベント豊かな海づくりフェスタの実施 ※中止

大会本番に向けた実地での検証と県民への気運醸成を目的に、海上歓迎・放流行事の会場となる南伊勢町田曾浦漁港でイベントを開催する予定でしたが、低気圧通過に伴う前日の強風によるステージ等の施設損傷により中止となりました。

②大会記念リレー放流

次代を担う子どもたち等に対して、地元の水産業などへの関心を高め、「つくり育てる漁業」の重要性を啓発することを目的に、県内各地で稚魚等の放流や水産教室を実施しました。

実施回数：34回（R7.3月末時点）

主な放流魚：マダイ、ヒラメ、トラフグ、クルマエビ、アユなど



第1回リレー放流
マダイ、カサゴ、ヒラメ稚魚の放流（南伊勢町）
写真提供：南伊勢町



水産教室の様子（紀北町）

3. 各種広報

(1) 大会テーマ、とこまるコスチュームの決定

美し国みえ大会にふさわしい大会テーマ及び「とこまる」のコスチュームを公募により決定しました。

大会テーマ 「受け継ごう 命あふれる 清い海」

「とこまる」
コスチューム



子ども用法被



(2) 大会テーマ、ロゴマーク及びキャラクターを活用したPR

大会ロゴマーク等を使ったPRグッズ、のぼり、横断幕等やコスチュームを模した法被を製作し、県内各地で開催する「リレー放流」や「市町イベント」で活用するなど、大会を広く周知しました。



PRグッズ例
(うちわ、ボールペンなど)



子ども用法被



法被を着用した
「とこまる」

(3) 多様なメディアによる情報発信

テレビ・ラジオ・新聞・公式ホームページによる発信



Mieライブに生出演



公式ホームページの作成

4. 大会に向けての準備

(1) 大会記念弁当のメニュー検討

大会当日に招待者へ提供する大会記念弁当について、三重県産食材をふんだんに使用したメニューを検討しました。



大会記念弁当のイメージ



監修者
三重県立相可高等学校調理クラブ

(2) 海上歓迎パレードの練習

大会当日の海上歓迎パレードの練習として、令和6年10月1日（火）に参加予定船15隻で事前練習を行いました。

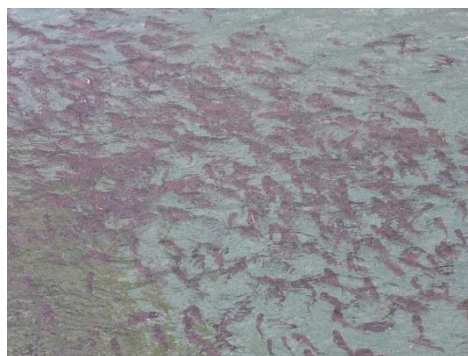


(3) 種苗生産

大会当日に放流する稚魚（マダイ及びトラフグ）として適切な規格の種苗を確保するため、飼育試験を実施しました。



種苗生産施設



マダイの稚魚

Ⅲ. 事務局運営事業

(1) 第43回全国豊かな海づくり大会大分大会での大会旗引継

上記の大会へ実行委員会会長である知事が出席し、大会旗の引継を受けると同時に、関連行事会場において、次期開催地としての三重県の魅力を全国へ向け発信しました。

- ・開催日 令和6年11月10日(日)
- ・場 所 大分県大分市(式典会場)、大分県別府市(海上歓迎・放流会場)



大会旗引継の様子



関連行事でのPRの様子

(2) 作文・絵画・習字コンクールの開催準備

大会開催年度(令和7年度)に県内の児童、生徒を対象に実施する作文・絵画・習字コンクールに向け、ポスターやチラシを作成するなどの募集準備を行いました。

- ・募集期間 令和7年4月1日(火)～6月6日(金)

第44回
全国 豊かな海づくり大会
～美し国みえ大会～

受け継ごう 命あふれる 清い海

作文・絵画・習字 コンクール

令和7年11月9日(日)に開催する「第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～」では、「受け継ごう命あふれる清い海」をテーマに、本県の豊かな海の再生に取り込む姿や多彩な農林水産物、自然、歴史、文化等、本県が有する魅力を全国に広く発信いたします。このため、大会行事の一環として、次世代を担う児童・生徒の皆さんに大会の開催意義や海の恵み、環境保全の大切さを広く理解していただくために作品コンクールを実施します。

応募期間 令和7年4月1日(火)～6月6日(金) ※事務局必着

応募資格

- 作文** 三重県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校(小学部、中学部、高等部)の児童、生徒
- 絵画** 三重県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る)及び特別支援学校(小学部、中学部)の児童、生徒
- 習字** 小学校低学年の部(1年生～3年生)「うみ」中学校の部「豊漁の海」小学校高学年の部(4年生～6年生)「豊かな海」

題 材

- 作文** 「海」、「川」、「森」、「水産物」に関するもの。
「海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産物について思うこと、豊かな海を守るためにできることなど」
- 絵画**
- 習字**

規 程

作文

- 400字詰原稿用紙(54横・縦書き)を用い、小学校低学年の部は3枚以内、小学校高学年の部、中学校の部及び高等学校の部は4枚以内とします。
- 原稿の1行目に課題、2行目に学校名、学年、氏名を明記してください。
- 筆記用具は、鉛筆(HBより濃いもの)又はボールペン(黒インク)とします。
- ※「消せるボールペン」の使用は不可とします。

絵画

- ハチ切り画用紙(27cm×38cm、5mm程度の差は概略内)とします。
- 絵巻を絵く画材(水彩絵具、アクリル絵具、クレヨン、色鉛筆、ボールペン、パスカル等)を使用したものを選びます。
- 貼り紙、糊、ボンドは貼ります。

習字

- 半紙(24cm×33cm)縦向きとします。
- 書体は楷書とします。ただし、中学生は行書も可とします。筆ペン・硬筆の使用は不可とします。
- 字体は、学校で使用されている教科書等の教材の中に示されている文字の形を標準とします。
- 作品には、学年(小～小六・中～中三、氏名(小学校低学年の部はひらがな可)を記入してください(学校名は書きなくてください)。

～全国豊かな海づくり大会とは～

「全国豊かな海づくり大会」は、水産資源の保護・管理と海や河川・湖沼の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて水産業の振興と発展を図ることを目的に毎年各地で開催されている国民的行事の一つです。

令和7年の三重県大会では、「式典行事」を「志摩市阿児アリーナ」(志摩市)、「海上歓迎・放流行事」を「宿田曾瀬漁港」(南伊勢町)で開催します。

作 文

募集部門

- ①小学校低学年の部(1年生～3年生)
- ②小学校高学年の部(4年生～6年生)
- ③中学校の部

入賞・入選

- 【入賞】
 - ・全県豊かな海づくり大会会長賞 4点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・県長水産大臣賞 4点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・環境大臣賞 4点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・水産庁長官賞 4点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・三重県知事賞 4点(各部門1点)(賞状及び副賞)
- 【入選】
 - ・中書賞の対象作品のうち、入賞作品以外の作品(賞状及び副賞)

表彰・発表

入賞者は、第44回全国豊かな海づくり大会「美し国みえ大会」の式典行事において表彰します。(代表者への賞状授与となる場合があります。)

絵 画

募集部門

- ①小学校低学年の部(1年生～3年生)
- ②小学校高学年の部(4年生～6年生)
- ③中学校の部

入賞・入選

- 【入賞】
 - ・全県豊かな海づくり大会会長賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・三重県知事賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・三重県漁業協同組合連合会代表理事賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・三重県漁業協同組合連合会代表理事賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・【入選】
 - 9点以内(各部門3点以内)(賞状及び副賞)
- 【表彰・発表】
 - 入賞者は、第44回全国豊かな海づくり大会「美し国みえ大会」の式典行事において表彰します。(代表者への賞状授与となる場合があります。)

習 字

募集部門

- ①小学校低学年の部(1年生～3年生)
- ②小学校高学年の部(4年生～6年生)
- ③中学校の部

入賞・入選

- 【入賞】
 - ・全県豊かな海づくり大会会長賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・三重県知事賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・三重県漁業協同組合連合会代表理事賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・三重県漁業協同組合連合会代表理事賞 3点(各部門1点)(賞状及び副賞)
 - ・【入選】
 - 9点以内(各部門3点以内)(賞状及び副賞)
- 【表彰・発表】
 - 入賞者は、第44回全国豊かな海づくり大会「美し国みえ大会」の式典行事において表彰します。(代表者への賞状授与となる場合があります。)

参加賞として応募者全員に記念品を贈ります！

応募にあたっての注意事項

- ① 作品は各コンクールごとに1人1点とし、自作・未発表のものに限ります。
- ② 応募に係る費用は応募者の負担とします。
- ③ 応募作品の返却はいたしません。
- ④ 個人で収集した画像などを学校を通じて送附させていただきます。
- ⑤ 応募により収集した個人情報については、応募の選考、入賞・入選後の通知、入賞・入選作品の公表、展覧以外に使用しません。
- ⑥ 入賞・入選作品の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)はすべて第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会に帰属するものとします。

なお、第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会、入賞・入選作品の発表及び大会の記録のため、無償で複製、印刷及びホームページ等で公開ができることとし、応募者はこれを承諾するものとします。

お問い合わせ・応募先

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会事務局
(三重県津市水産総合センター水産プロジェクトチーム)

〒514-0004
三重県津市分庁1丁目954番地(栄町庁舎5階)

TEL 059-224-2162 FAX 059-224-2059

大会ホームページ

<https://yutakana-umidokuri.pref.mie.jp/>

三重 海づくり

募集要項や各様式は、大会HPに掲載しています



検索

印刷

2 令和6年度 収支決算(案)

※金額は令和7年2月末時点

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	予算額と決算額との比較	摘 要
1 負担金	59,350,000	59,350,000	0	三重県からの負担金
2 繰越金	2,428,563	2,428,563	0	前年度繰越金
3 諸収入	0	472,584	472,584	預金利息、豊かな海づくり大会推進委員会負担金、地域での豊かな海づくり大会推進事業支援金
合計	61,778,563	62,251,147	472,584	

2. 支出の部

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	予算額と決算額との比較	摘 要
1 実行委員会運営費	1,048,000	135,093	912,907	
2 企画運営・広報費	59,774,563	55,824,686	3,949,877	
3 事務局運営費	956,000	633,642	322,358	
合計	61,778,563	56,593,421	5,185,142	

○第3号議案

令和7年度事業計画及び収支予算（案）

令和7年度事業計画及び収支予算（案）

1 令和7年度 事業計画

令和7年11月9日に第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～を開催します。大会開催に向け、実施体制を構築するとともに、気運醸成を図るため、大会記念リレー放流の実施や地域イベント等への出展による大会PR活動に取り組みます。

I. 実行委員会運営事業

(558千円)

1. 総会

○第4回総会

日時：令和8年3月下旬頃

場所：津市内

内容：①令和7年度事業報告及び収支決算（案）
②三重県実行委員会の解散について（案）

2. 幹事会

○第4回幹事会

日時：令和8年2月中旬頃

場所：津市内または書面開催

内容：第4回総会へ提出する議案の審議

II. 企画運営・広報事業

(514,326千円)

1. 歓迎レセプション

大会に参加される県内外からの招待者に三重県が誇る農林水産物をふんだんに使用した料理を堪能していただき、美し国みえの食でおもてなしします。

2. 大会実施運営

令和7年11月9日に第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～を開催します。志摩市阿児アリーナで式典行事、南伊勢町宿田曾漁港で海上歓迎・放流行事を実施します。

3. 関連行事

大会当日に県民が参加できるイベントを県内5ヶ所（桑名市、津市、志摩市、南伊勢町、尾鷲市）で開催します。

4. 宿泊輸送

大会参加者の申込受付や宿泊場所の手配、当日の参加者輸送、誘導管理、大会記念弁当の準備などを行います。

5. 作品コンクール

大会行事の一環として、次世代を担う児童・生徒に大会開催の意義や環境保全の大切さを広く理解してもらうための作品コンクールを開催します。

6. 放流用稚魚生産

大会で実施する放流行事や大会記念リレー放流で必要となる放流用種苗の委託生産や放流までの管理に取り組みます。

7. 気運醸成に向けた取組

①大会記念リレー放流

県内の沿海及び内水面において、児童などと稚魚の放流を実施するとともに、子ども達が楽しく学べる水産教室などを実施します。

②各種イベント等と連携した大会PR活動

漁協や市町、環境団体等が開催する海や魚、自然環境に関連したイベントと連携し、海の豊かさや自然を守ることの大切さなど、大会PR活動などを実施します。また、大会マスコットキャラクター（とこまる）を活用したノベルティグッズ等の作成・配布によるPRを実施します。

③魚食普及活動

学校給食や料理教室、レシピコンテストなどを通じて、三重県の豊かな水産物を身近に感じてもらいながら、水産物の消費拡大や水産資源の保護の重要性の浸透を図ります。

④協賛金、協賛品、協賛行事の募集

大会の成功に向けて、基本理念に賛同していただける企業等から協賛金（物品を含む）を募集するとともに、大会の周知や気運醸成を目的に、イベントや海浜清掃、水産物消費拡大などの活動を協賛行事として募集します。

⑤情報発信

大会に関する情報を県内外へ効果的に発信するため、昨年度に引き続き、大会専用ホームページを運用します。また、大会公式ポスターやリーフレットの作成・配布、県・市町等の広報誌など、各種印刷物を活用した広報活動を展開するとともに、インターネットを用いた多様なメディアによる情報発信も行います。

Ⅲ. 事務局運営事業

(5,116千円)

大会実施に係る関係省庁との協議、関係団体等との調整、大会実施に必要な物品の調達、事務局の事務に必要な消耗品等の調達等、事務局の運営を行います。



2 令和7年度 収支予算(案)

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	増減	摘 要
1 負担金	513,719,000	59,350,000	454,369,000	三重県からの負担金
2 繰越金(※)	5,657,726	2,428,563	3,229,163	前年度からの繰越金
3 諸収入	623,274	0	623,274	海づくり協会助成金 預金利子
合計	520,000,000	61,778,563	458,221,437	

※金額は令和7年2月末時点

2. 支出の部

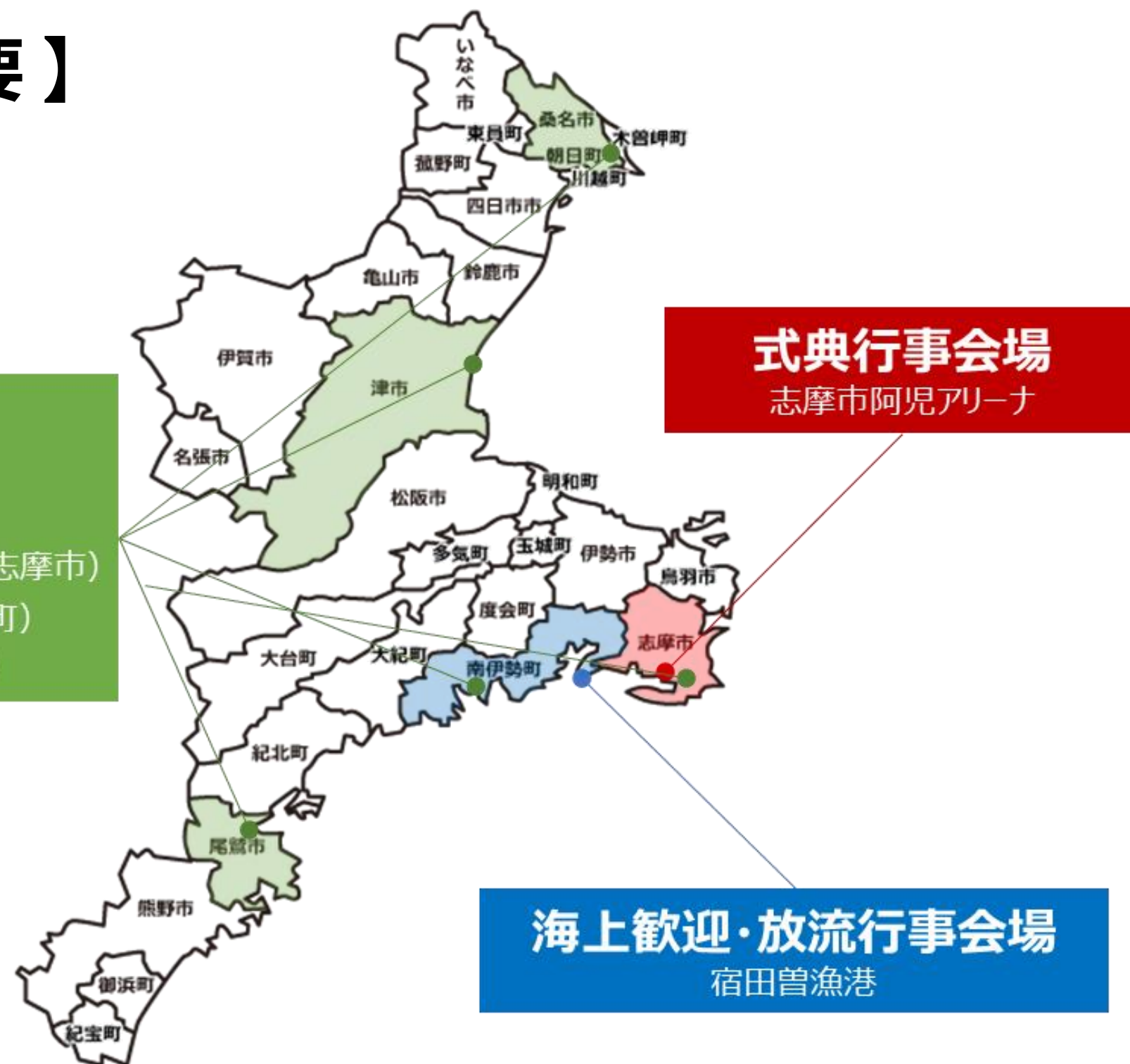
(単位:円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	増減	摘 要
1 実行委員会 運営費	558,000	1,048,000	△490,000	・総会 ・幹事会 等
2 企画運営・ 広報費	514,326,000	59,774,563	454,551,437	・大会の実施 ・放流用種苗生産 ・各種広報物制作、 P R 等
3 事務局運営費	5,116,000	956,000	4,160,000	・庶務 ・大会スタッフジャンパー 作成 等
合計	520,000,000	61,778,563	458,221,437	

第44回全国豊かな海づくり大会 ～美し国みえ大会～

大会テーマ：受け継ごう 命あふれる 清い海

【全体概要】



資料 1

■主催

- ・豊かな海づくり大会推進委員会
- ・第44回全国豊かな海づくり大会
三重県実行委員会

■開催日

令和7年11月9日（日）

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～

式典行事 全体コンセプト

【背景】

- ・三重県は日本書記において「**美し国**」と称され、古来から海・山の幸に恵まれる
- ・志摩地方は「**御食つ国**」として朝廷に海産物を献上する国として重要な地位を占めていた
- ・「御食つ国」が成立できたのは、**豊かな自然が育む海の幸**と、その恵みを**持続的に享受**するための人々の**知恵**
- ・一方、近年では栄養塩類の不足や、海水温上昇などの環境変化に伴い、三重県の**漁場生産力が低下**

【メインテーマ】

- ①式典を通じて海にまつわる歴史や伝統、豊かな自然の魅力を存分に感じていただく
- ②持続可能な水産業を次の世代に引き継いでいくという強いメッセージを発信する

三重県全体で！

【過去、現在、未来の3つの時間軸で演出を構成】

- (過去) 海にまつわる歴史や伝統、豊かな自然の魅力を全国に伝えつつ、水産業の重要性をあらためて認識する
- (現在) 三重県の漁業の特色や環境保全活動などを漁業者の声と映像を交えて具体的に紹介
- (未来) 世代を超えた協力で豊かな海の再生に取り組む三重県の姿を全国に発信する

式典行事 概要

開催日時：11月9日（日）午前
招待者数：約1,000名

【プログラム】

所要時間	次第	演出内容
62′	招待者入場開始 招待者着席	三重県の紹介映像上映（観光ビデオ等）
35′	プロローグ	ナビゲーター、映像や芸能披露による演出
4′	進行概要説明	司会による概要説明
5′	登壇者／式典補助員紹介	登壇者・式典補助員等の紹介
3′	奉迎準備	司会者による奉迎の案内
2′	御臨席	三重県知事の先導により御臨席
5′	大会旗入場	先導する児童に合わせて大会旗が入場 旗手より大会旗受取
1′	開会のことば	三重県漁連 会長
2′	国歌斉唱	
8′	主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長 三重県実行委員会会長（三重県知事）
2′	歓迎のことば	志摩市長
4′	おことば	
4′	功績団体等表彰	大会会長、農林水産大臣、環境大臣、水産庁長官、 三重県知事が各受賞者へ授与
5′	最優秀作文の発表	大会会長賞受賞者より作文朗読
5′	稚魚等のお手渡し	漁業関係者へ稚魚等をお手渡し
10′	海づくりメッセージ	漁業者、環境保全活動実践者等
3′	大会決議	大会推進委員会会長より大会決議
4′	大会旗引継、次期開催県あいさつ	三重県知事から大阪府知事へ大会旗引継
1′	閉会のことば	三重県議会議長より閉会のことば
2′	御退席	
10′	登壇者退席	
8′	受賞者紹介	受賞者紹介映像を上映
15′	表彰式 終了あいさつ	三重県副知事から功績団体、作品コンクール受賞者へ 表彰状授与
15′	エピローグ	ダンスと合唱などによるパフォーマンス
	終了	

【出演者など】

【ナビゲーター】
浅尾美和・瀬古利彦
【プロローグ】
伝統芸能演者（調整中） アトラクション演者（調整中）
【式典補助員】
県立志摩高等学校
【式典音楽隊】
私立皇學館高等学校吹奏楽部
【大会旗入場】
先導：私立しまの杜こども園（調整中） 旗手：県立水産高等学校
【稚魚のお手渡し】
お受取：漁業関係者
【海づくりメッセージ】
漁業関係者など
【エピローグ】
ダンスパフォーマー（調整中） 伊勢市立五十鈴川中学校合唱部



【登壇者】

【来 賓】
農 林 水 産 大 臣 環 境 大 臣 水 産 庁 長 官 大 阪 府 知 事 （ 後 催 県 ）
【主催者】
衆 議 院 議 長 （ 大 会 会 長 ） 全 漁 連 会 長 （ 推 進 委 員 会 会 長 ） 三 重 県 知 事 （ 県 実 行 委 会 長 ） 志 摩 市 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 南 伊 勢 町 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 三 重 県 漁 連 会 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 三 重 県 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ） 志 摩 市 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ） 南 伊 勢 町 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ）

【会場イメージ】



【演出テーマ】

プロローグ

「美し国の海の豊かさと伝統」
「地域の特徴を活かした水産業」
「豊かな海の未来をともにつくる」

海づくりメッセージ

「豊かな海づくりへ向けた決意」

エピローグ

「豊かな海づくりへの想いの共有とエール」

式典行事 実施内容

開催日時：11月9日（日）午前
プログラム構成：プロローグ、表彰、稚魚等のお手渡し、海づくりメッセージ、エピローグなど

次 第	演出内容	演出の狙い	出演候補
招待者入場	プロモーション映像放映	三重県の豊かな自然、観光スポット、多彩な魅力あふれる「美し国みえ」の情報発信・PR。	県内観光スポット（歴史、文化、産業、自然等）
プロローグ	【第1章】 ※過去を表現 演出テーマ：美し国の海の豊かさと伝統（映像と語り） 【演目1】安乗人形芝居「戎舞」	ハマグリ、海女、真珠養殖、定置網漁業等、語り部が映像と共に解説し、三重県の歴史、漁業への理解を深める。  豊かな海への感謝と豊漁の願い	語り部（調整中） 安乗人形芝居保存会ほか（調整中）
	【第2章】 ※現在を表現 演出テーマ：地域の特徴を活かした水産業（映像）	栽培漁業や養殖漁業など、つくり育てる漁業や、水産物のブランド化の取り組みなど、三重県で取り組まれる漁業の現在を紹介。	栽培漁業の取組 養殖業の取組 ブランド化の取組（調整中）
	【第3章】 ※未来を表現 演出テーマ：豊かな海の未来をともにつくる（映像とナビゲーター）	漁業者と連携した活動や、持続可能な漁業への取組を紹介。	漁業者、地元関係者など（調整中）
	【演目2】アトラクション（調整中）	会場が一体となる豊かな海づくり（未来）の気運を高める。	アトラクション演者（調整中）
式典	海づくりメッセージ 演出テーマ：豊かな海づくりへ向けた決意 稚魚等の受け渡し（お受取り） 式典音楽隊	若手、夫婦、ベテラン漁業者、環境保全活動の実践者などによる決意表明。	漁業者（調整中） 漁業関係者（調整中） 環境保全活動の実践者など（調整中） 私立皇學館高等学校 吹奏楽部
エピローグ	演出テーマ：豊かな海づくりへの想いの共有とエール（エピローグ全体） ナビゲーターによるトーク 式典全体を振り返りながら、ナビゲーターがご自身の海の思い出を語ります。	式典全体を振り返りながら、ナビゲーターがご自身の海の思い出を語ります。	ナビゲーター（浅尾 美和、瀬古 利彦）
	【演目3】豊かな海づくりを表現するダンス	豊かな海を再生し、持続可能な水産業を次世代に引き継ぐという強いメッセージを躍動感があり華やかな創作ダンス等で表現。	ダンスパフォーマー（調整中）
	【演目4】中学生による合唱	豊かな海づくりに向けた応援のエールを届けるため、合唱で大会のフィナーレを飾る。	伊勢市立五十鈴中学校 合唱部

海上歓迎・放流行事 概要

開催日時：11月9日（日）午後
招待者数：約 5 0 0 名

プログラム構成：漁法紹介、稚魚の放流

【プログラム】

所要時間	次第	演出内容
10'	招待者会場移動・整列	
	歓迎演奏	吹奏楽による歓迎演奏
5'	進行概要説明	司会による概要説明
2'	奉迎準備	司会者による奉迎の案内
2'	御着	三重県知事の先導により御放流台へ御移動
10'	海上歓迎御覧	漁船等による海上航行（漁法紹介）
4'	第1回御放流	イセエビ稚エビの放流
4'	第2回御放流	マダイ稚魚の放流
2'	御発	三重県知事の先導により御発
	終了	



【出演者など】

【吹奏楽演奏】
県立神戸高等学校吹奏楽部
【和太鼓演奏】
なぶら太鼓
【御放流介添】
県立南伊勢高等学校 県立水産高等学校 南伊勢町立南勢中学校

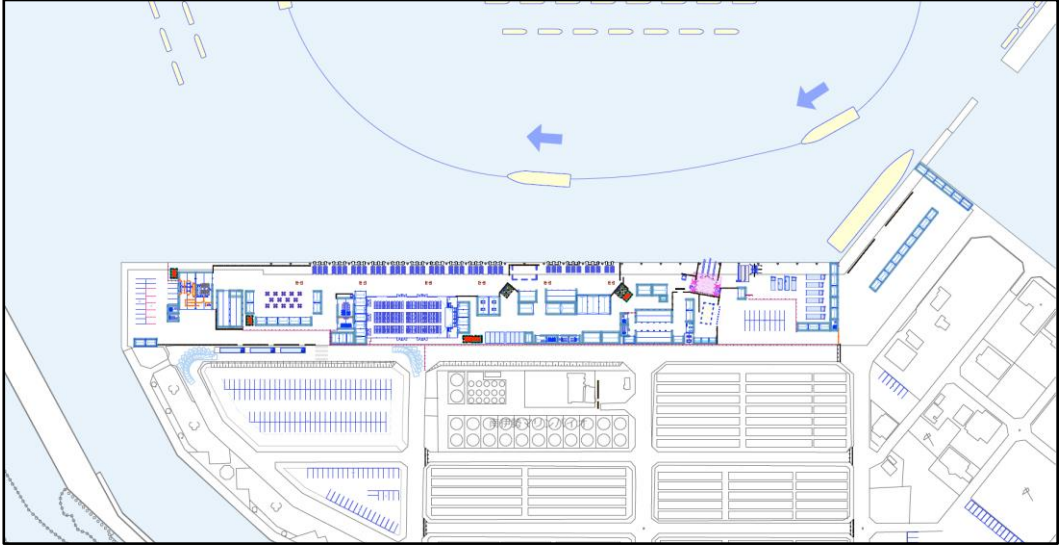
【漁法紹介船】

漁船	海女
	いせえび刺網
	真珠養殖
	ふぐはえ縄
	定置網
	まき網
	沿岸かつお一本釣り
他	魚類養殖
	漁業調査船

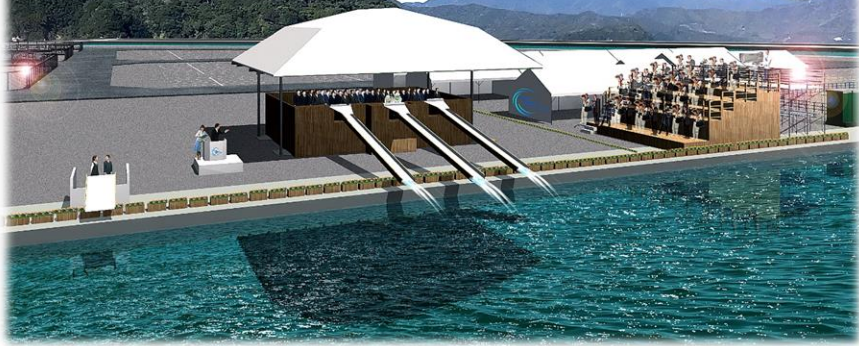
【登壇者】

【来賓】
農 林 水 産 大 臣 環 境 大 臣 水 産 庁 長 官
【主催者】
衆 議 院 議 長 （ 大 会 会 長 ） 全 漁 連 会 長 （ 推 進 委 員 会 会 長 ） 大 日 本 水 産 会 会 長 （ 推 進 委 員 会 顧 問 ） 日 本 放 送 協 会 会 長 （ 推 進 委 員 会 顧 問 ） 三 重 県 知 事 （ 県 実 行 委 会 長 ） 志 摩 市 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 南 伊 勢 町 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 三 重 県 漁 連 会 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 三 重 県 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ） 志 摩 市 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ） 南 伊 勢 町 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ）

【会場平面図】



放流行事イメージ



海上歓迎パレードイメージ



海上歓迎・放流行事 実施内容

次第	演出内容	出演候補
歓迎演奏	吹奏楽による歓迎演奏	県立神戸高等学校 吹奏楽部
海上歓迎御覧	漁船等による海上航行（漁法紹介） なぶら太鼓	漁船15隻／漁業調査船 1 隻 なぶら太鼓

関連行事

大会開催市町を含む県内 5 市町と連携し、多くの方が参加できるイベントを開催。

式典行事、海上歓迎・放流行事の映像中継、企画展示や体験ブース出展、放流行事との同時放流。（放流可能会場のみ）

開催日：11月9日（日）
場所：桑名港（桑名市）、白塚漁港（津市）、志摩市ともやま公園（志摩市）、
奈屋浦漁港（南伊勢町）、尾鷲魚市場（尾鷲魚）



大分県大会の関連行事での中継映像

絵画・習字優秀作品御覧

開催日：11月8日（土）

作品コンクールの優秀作品（知事賞受賞作品）を御覧いただく。



大分県大会での作品御覧
＊写真提供：大分県

招待者へのおもてなし

会場でのおもてなし



大会記念弁当イメージ（監修：県立相可高等学校 調理クラブ）

三重県の豊かな食の魅力を伝えるため、県内各地の特産物をはじめとした、三重県の農林水産物をふんだんに盛り込んだ大会記念弁当を提供。
式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場では飲み物のサービスを実施。
関連行事会場では、三重県の水産物と、その加工品などの販売等を実施。

大会記念品の提供



記念品（大分県例）

＊写真提供：大分県

招待者には三重県ならではの心に残る大会記念品を提供。

実施本部設置計画

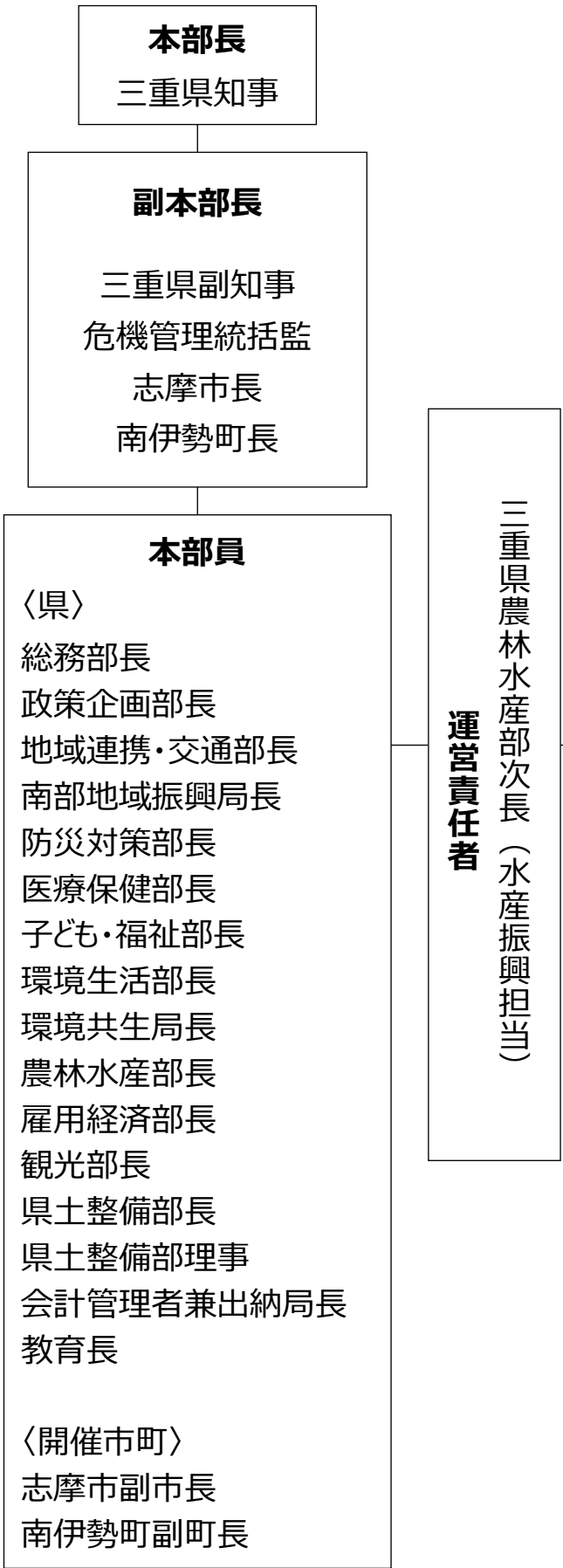
【組織図】

【基本的な考え方】

- ①招待者（出演者含む）の受付・案内の対応や各行事の進行管理など、大会運営に係る業務を円滑に実施するため設置
- ②実施本部員は、三重県、関係市町及び水産関係団体職員を中心に構成
- ③大会を円滑に推進するため、事前に関係機関、関係団体との綿密な情報交換・調整を行う。

【組織及び業務概要】

- ①実施本部に本部長、副本部長、本部員及び運営責任者を置き、各部には部長及び班長等を置く。
- ②組織や主な業務内容は右図のとおりとする。



組織名				業務内容
部名		班名		
1	総括部	1-1	実施本部運営班	実施本部の総括、大会運営の進行管理 関係機関との連絡調整、報道機関対応、判定会議の運営 他部の事務に属さないこと
		1-2	総務班	県民対応等の窓口、荒天時対応の補助
2	特別接伴部	2-1	SVIP接伴班	SVIPとの連絡調整・受付・接伴
3	作品御覧・歓迎 レセプション部	3-1	総務・招待者管理班	作品御覧・歓迎レセプションの総括管理
		3-2	入場管理班	作品御覧・歓迎レセプション招待者の受付・手荷物検査
		3-3	作品御覧運営班	絵画・習字作品御覧の運営進行管理
		3-4	歓迎レセプション運営班	歓迎レセプションの運営進行管理
		3-5	救護・防災班	救護及び防災対策、医療機関・消防等との連絡調整
4	式典行事部	4-1	総務・招待者管理班	式典行事の総括管理、招待者の名簿管理
		4-2	入場者管理班	招待者の受付、手荷物検査
		4-3	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		4-4	式典行事運営班	式典行事の運営進行管理
		4-5	接遇班	招待者の接遇等
		4-6	放流魚御覧運営班	放流魚御覧の管理運営、お手渡し魚の管理
		4-7	救護班	救護対策、医療機関・消防等との連絡調整
		4-8	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
5	海上歓迎・ 放流行事部	5-1	総務・招待者管理班	海上歓迎・放流行事の総括管理、招待者の名簿管理
		5-2	入場者管理班	招待者の受付、手荷物検査
		5-3	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		5-4	海上歓迎行事運営班	海上歓迎行事の運営進行管理
		5-5	放流行事運営班	放流行事の運営進行管理
		5-6	接遇班	招待者の接遇等
		5-7	救護班	救護対策、医療機関・消防等との連絡調整
		5-8	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
6	関連行事部	6-1	総括管理班	関連行事会場の総括管理、主催者との連絡調整
		6-2	会場管理班	大会映像中継の管理運営、企画展示・体験・放流等支援
7	宿泊・輸送部	7-1	総務・総括管理班	宿泊・輸送業務全体の総括管理、総合案内
		7-2	指定宿泊施設班	招待者宿泊施設での受付、輸送バス添乗
		7-3	指定集合地班	指定集合地での受付、輸送バス添乗
		7-4	作品御覧・歓迎レセプション輸送班	作品御覧・歓迎レセプション招待者の輸送
		7-5	式典行事輸送班	式典行事における輸送
		7-6	海上歓迎・放流行事輸送班	海上歓迎・放流行事における輸送

大会の気運醸成

1. 作品コンクール（作文、絵画、習字）【令和7年4～6月】

県内の小・中・高校生を対象とした作品コンクールを実施。

※作文最優秀者は、式典で朗読を実施。絵画・習字は大会前日に優秀作品御覧を実施。

2. 大会開催気運醸成イベント【令和7年5月～6月頃】

大会開催へのさらなる気運醸成に向けたイベントを実施。

3. 豊かな海や河川の恵みを楽しむための水域環境の保全【令和7年4月～10月頃】

（公財）海と渚環境美化・油濁対策機構との共催による海浜清掃を実施。

4. 多彩な魅力あふれる「美し国みえ」の発信（魚食普及活動）

未利用魚も含めた三重県の豊かな水産物の消費拡大を通じ、水産資源保護の重要性の浸透を図る。

5. 子供用法被を活用したPR

公募により決定した子供用法被を活用し、各種PRイベント等において広報活動を行う。

6. 大会記念リレー放流・水産教室【令和7年4月～10月頃】

7. 地域イベント等での大会PR【令和7年4月～10月頃】

8. 大会協賛（協賛金、協賛品、協賛行事）の募集

9. 大会専用ホームページを活用した広報



今後のスケジュール

・令和7年3月26日 三重県実行委員会 第3回総会

・ 4月 大会実施本部設置

・ 5月31日 大会開催気運醸成イベント

・ 9月20日 海上歓迎リハーサル

・ 10月5日 式典行事リハーサル

・ 11月8日 前日総合リハーサル

・ 11月9日 大会本番

・令和8年3月 三重県実行委員会 第4回総会



第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会名簿

No.	区分	組織名	職	氏名
1	顧問	三重県議会	議長	稲垣 昭義
2		三重県議会環境生活農林水産常任委員会	委員長	廣 耕太郎
3		志摩市議会	議長	中村 孝司
4		南伊勢町議会	議長	東 伊久雄
5	会長	三重県	知事	一見 勝之
6	副会長	三重県	副知事	野呂 幸利
7		三重県漁業協同組合連合会	代表理事会長	濱口 慶太
8		志摩市	市長	橋爪 政吉
9		南伊勢町	町長	上村 久仁
10	委員 (沿海市町、市町代表)	木曾岬町	町長	加藤 隆
11		桑名市	市長	伊藤 徳宇
12		川越町	町長	城田 政幸
13		四日市市	市長	森 智広
14		鈴鹿市	市長	末松 則子
15		津市	市長	前葉 泰幸
16		松阪市	市長	竹上 真人
17		明和町	町長	下村 由美子
18		伊勢市	市長	鈴木 健一
19		鳥羽市	市長	中村 欣一郎
20		大紀町	町長	服部 吉人
21		紀北町	町長	尾上 壽一
22		尾鷲市	市長	加藤 千速
23		熊野市	市長	河上 敢二
24		御浜町	町長	大畑 覚
25		紀宝町	町長	西田 健
26		三重県市長会	会長	鈴木 健一
27		三重県町村会	会長	西田 健
28	委員 (国、団体等)	鳥羽海上保安部	部長	尾崎 賢一
29		公益財団法人三重県水産振興事業団	理事長	濱口 慶太
30		三重県内水面漁業協同組合連合会	代表理事会長	渡邊 典浩
31		三重県真珠養殖連絡協議会	会長	山口 健司
32		三重県漁業共済組合	組合長理事	清水 三千春
33		三重県JF共済推進本部(共水連三重県事務所)	推進本部本部会長	木下 和行
34		全国漁業信用基金協会三重支所	運営委員長	濱口 利貴
35		日本漁船保険組合三重県支所	運営委員長	西 秀次
36		三重県漁港漁場協会	会長	前葉 泰幸
37		三重県漁業士会	会長	田邊 善郎
38		三重県漁協青壮年部連絡協議会	会長	中村 有介
39		三重県漁協女性部連合会	会長理事	小寺 功子
40		公益社団法人三重県観光連盟	代表理事(会長)	竹谷 賢一
41		協同組合三重県物産振興会	専務理事	早川 まち子
42		三重県農業協同組合中央会	代表理事会長	谷口 俊二
43		三重県森林組合連合会	代表理事会長	森 秀美
44		三重県商工会議所連合会	会長	伊藤 歳恭
45		三重県商工会連合会	会長	安藤 邦晃
46		公益社団法人三重県バス協会	会長理事	田端 英明
47		一般社団法人三重県タクシー協会	会長	末吉 利教
48		東海旅客鉄道株式会社(JR東海)	管理部企画課長	石川 孝司
49		近畿日本鉄道株式会社	名古屋統括部長	大内 敬弘
50		一般社団法人 日本旅行業協会中部支部 三重地区委員会	委員長	山口 謙一
51		一般社団法人 三重県旅行業協会(全国旅行業協会 三重県支部)	会長	渡部 俊郎

No.	区分	組織名	職	氏名
52	委員 (県関係)	三重県総務部	部長	後田 和也
53		三重県政策企画部	部長	小見山 幸弘
54		三重県地域連携・交通部	部長	長崎 禎和
55		三重県地域連携・交通部南部地域振興局	局長	佐波 斉
56		三重県防災対策部	部長	楠田 泰司
57		三重県医療保健部	部長	松浦 元哉
58		三重県子ども・福祉部	部長	枳屋 典子
59		三重県環境生活部	部長	竹内 康雄
60		三重県環境生活部環境共生局	局長	佐藤 弘之
61		三重県農林水産部	部長	中野 敦子
62		三重県雇用経済部	部長	松下 功一
63		三重県観光部	部長	生川 哲也
64		三重県県土整備部	部長	若尾 将徳
65		三重県県土整備部	理事	佐竹 元宏
66		三重県教育委員会	教育長	福永 和伸
67		三重県警察本部	本部長	難波 正樹
68	代表監事	東日本信用漁業協同組合連合会三重支店	執行役員	仲 越哉
69	監事	三重県出納局	会計管理者兼出納局長	佐脇 優子
70	参与 (報道関係)	伊勢新聞社	取締役編集局長	綿貫 美希
71		朝日新聞社 津総局	総局長	中田 和宏
72		毎日新聞社 津支局	支局長	山本 直
73		中日新聞社 三重総局	総局長	渡部 圭
74		読売新聞社 津支局	支局長	森本 隆之
75		中部経済新聞社 三重支社	支社長	稲熊 康晴
76		共同通信社 津支局	支局長	宮川 さおり
77		時事通信社 津支局	支局長	雨宮 尚
78		日本経済新聞社 津支局	支局長	皆上 晃一
79		日本放送協会 津放送局	局長	尾藤 さお里
80		CBCテレビ三重支社	支社長	柴田 純典
81		東海テレビ放送 三重支社	支社長	鈴木 求
82		名古屋テレビ放送 三重支社	支社長	星 恭博
83		中京テレビ放送 三重支局	支局長	尾原 秀三
84		三重テレビ放送株式会社	代表取締役社長	山口 貢
85		三重エフエム放送株式会社	代表取締役社長	川島 博志
86		夕刊三重新聞社	代表取締役社長	山下 至
87		三重新報社	代表	岡原 一寿
88		吉野熊野新聞社	代表取締役社長	谷川 隆富
89		特定非営利活動法人いなべエフエム	理事長	弓矢 孝己
90		株式会社シー・ティー・ワイ	代表取締役社長	渡部 一貴